

活性化モデル商店街の成功事例

商店街：蟹江町商工会

●キャッチフレーズ

笑顔溢れ活気に満ちた商店街づくり

◎商店街の将来ビジョンの実績

空き店舗対策事業について、長年当地域でスポーツクラブを運営してきた商工会員が、従前より地域内で活用を検討していた空き店舗を、「学童・預かり保育」の場所として開業するなど、空き店舗を活用した新規開業の動きが見られた。

地域の垣根を越えた事業連携について、町内で隣接する発展会同士が手を組むことで、特に近鉄蟹江駅前周辺の活性化ではその一役を担った。また、発展会間の連携にとどまらず、事業所間での積極的な関わりが見られ、イベント開催時には双方で出店するなど、活発な連携体制が構築できた。

沖縄県読谷村商工会との事業連携については、特産品開発に一定の目途がたち、専用のチラシを作成し、地域での認知度向上を図った。

◎事業実績

○げんき商店街推進事業（地域資源活用事業）（26年度、27年度）

町内5発展会及び商工会により、弁天縁日など地域資源を活用した取組を実施した。

（26年度7事業、27年度8事業）

○げんき商店街推進事業（防災、防犯対策事業）（26年度）

老朽化した街路灯をLED街路灯に立て替えた。（4基立替、2基撤去）

◎事業の効果

- ・ SNSを活用した周知広報を行ったことで、地域住民による事業の認知度が向上した。
- ・ 若手経営者が洋菓子店や不動産仲介業の店を空き店舗で開業するなどにより、空き店舗が減少した。



（弁天縁日）